

神奈川県立平塚江南高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した

審議会名称	神奈川県立平塚江南高等学校 令和6年度 第2回学校運営協議会
開催日時	令和6年12月14日(土)13:00~14:30
開催場所	神奈川県立平塚江南高等学校 会議室
[役職名] 出席者	<p>[委員] 穴戸 章子(会長) 山崎 幸子 金田 岳志 香取 祐亮 齋藤 弘 鈴木 奏到 武田 恵美子 井野 雄二(副会長、平塚江南高等学校長)</p> <p>[事務局] 岩崎 幸代(副校長)、本城 純美(教頭)、今福 聡(事務長)、 植田 渥士(総括教諭)、島川 淳(総括教諭)、 小坂 宏之(総括教諭)、森谷清一(総括教諭)、 三笠 裕史(総括教諭)</p>
	<p>開会 1 校長あいさつ [井野校長] 学校評価報告書(中間報告)について、授業改善、学力向上進学重点校への取組み、スーパーサイエンスハイスクールⅡ期申請、地域連携の取組みに関してぜひ忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>2 学校運営協議会の開催にあたって ○第1回学校運営協議会内容確認 ア. 会長・副会長選任 イ. 学校設置部会設置承認と委員指名 ・授業改善部会 ・キャリア部会 ・防災部会 ウ. 教育計画、教育課程編成、学校組織編成、学校予算、施設及び設備等の管理及び整備に関する承認 以上、選任、指名、承認を行ったことの確認。</p> <p>3 協 議 【穴戸会長】 学校評価報告書(中間報告)について事務局から説明いただきたい。 【植田総括教諭】 視点1について(教育課程 学習指導) ・授業改善につきまして、第2回目の授業評価を行ったばかりであり、12月9日には公開授業を行いご意見をいただいたところである。 ・SSH Ⅱ期申請について、12月11日に申請を済ませたところである。Ⅰ期との大きな差異は学校設定教科「共創・探究」を学習指導要領で設置された共</p>

通教科「理数」に引き継いだところである。これに伴い、「情報Ⅰ」を独立させた。また、育てたい資質・能力の項目を8項目から6項目に整理した。仮説についてはほぼⅠ期のものを引き継いでいる。

【森谷総括教諭】

視点1について(教育課程 学習指導)

- ・課題解決、共同して課題を解決する力を育成するという視点では生徒会活動・行事、部活動を重視している。生徒が主体的に計画・運営し、教員は支援するという形で関わっている。卒業時に実施される魅力と特色づくりアンケートにおいて、充実した活動ができた、という回答が90%を越えるように支援しているところである。
- ・体育祭、文化祭が終わったところであるが、概ね満足のいく活動ができていると考えている。
- ・課題としては、各行事の中で各セクションの連携がスムーズにっていないところがあり、反省や引き継ぎ会などを実施して改善できればと考えている。

【宍戸会長】

視点1の①②について各委員から質問、ご意見を伺いたい。

【金田委員】

視点1の①について、理数探究の単位数の設定や評価測定方法などにご苦労があったようだが、他にⅡ期採用に向けて課題と考えているポイントはあるか。

【植田総括教諭】

探究的な科目の単位数について課題があり、これについてはサイエンスインターシップとして行われていたものをサイエンススタディと改称した。これは短期集中科目になると想定しているが、先端技術分野研究所や博物館等での研修に実験実習体験などを加えるなどして拡充し、コンテスト等への参加などに繋げられるようにしたいと考えている。また、これを選択する生徒を増やし、課題研究に取り組む時間(単位)を増やしていきたいと考えている。

【鈴木委員】

理数探究を中心に据えてということであれば、DXやデータサイエンスの分野に長けた人材が卒業生のなかにもいるので活用が可能だと考える。

【宍戸会長】

すべての教科において、データ処理能力・情報活用能力を育てる、となっているところについて説明をお願いしたい。

【植田総括教諭】

仮説にも書かれている通り、教科横断的な視点をもってすべての教科の教員が指導にあたる形で計画している。理数探究という名称ではあるが、人文科学、社会科学系のテーマを扱うこともあり、そのようなテーマでデータを取り扱うことを想定している。全教員がデータ処理・情報活用能力を育てるための研修を受け始めているところである。

【鈴木委員】

定着するまでの時間はかかると思うが、総合型選抜による入試や就職等に非常に有利にはたらく分野でもあり、テーマに継続的に取り組んで、本校の特長としていただきたい。同窓会は支援する。

【宍戸会長】

授業改善関係の生徒による授業評価について。その内容は時代に即したものの、本校に適応したものになっているのかお聞きしたい。

【植田総括教諭】

年2回実施している。特に質問項目は変えていないが、担当者間ではSSHの指

標評価にも繋げうという問題意識がでてきており、検討課題となっている。

【穴戸会長】

SSH関係の取組みや測定評価のみならず、分析の方向性なども検討し、すべての教科に敷衍して、生徒が達成感を持てるような方向に仕向けてほしい。

体育祭、文化祭などの行事についても、前後でアンケートを実施することで生徒の変容や、伸ばした資質を測定できると行事の重要性の根拠になると考えるので実施の検討をするとよい。

次に視点の2(生徒指導 支援)について説明をお願いします。

【森谷総括教諭】

生徒の心身の問題に関わることとして、年2回かながわサポートドックを実施している。その結果から問題を抱えている生徒の早期発見に努め、SCおよびSSWに繋げるという形で生徒の支援を行っている。また、教員間の情報共有の場として当該学年および教科担当でケース会議を行っている。

交通安全について、自転車通学の生徒が多く、自転車乗車については適宜指導をおこなっているが、近隣の方から苦情を何件かいただいているところである。

SNSに関して不適切な使用が起きており、スマートフォン、インターネットに関する情報リテラシーについては引き続き指導を行っていかねばならないと考えている。

部活動に関して、生徒の学習面以外の資質を育てるということにおいて部活動は重要なものとして位置づけている。行事の企画、運営と同じく生徒の主体性を重視し、部長会の活性化、充実を促し様々な課題を共有している。課題にあげた加入率の減少傾向についてはピーク時に比してという意味であり、本校は他校に比べても部活動・同好会の数は多く、2つ以上の部を兼部する生徒もおり、活発に活動をしていると考えている。

【穴戸会長】

指導案件など非常に具体的に挙げられており、オープンな姿勢は評価できる。

視点3(進路指導・支援)について、説明願いたい。

【島川総括教諭】

添付した資料は、進路に関する意識を高めるために主に1, 2年生に配布している進路資料である。

3年生について、今年度は調査書の改訂が行われたが、作成にあたっては組織的に対応した。

今年度3年生の進路希望は全員大学進学を希望している。推薦入試を希望する者は約3割である。進路決定を早めたいという意向から、推薦入試を希望する生徒が増える傾向は年々高まっている。大学側も定員割れになる学部があり、合格者を早期に決定したいという意向が働いているようで、双方の意向が合致しているところがある。また、一部2月の入試を廃止する情報などもあり、年内受験の方向性は強まると思われる。

1, 2年生については、11月下旬に予備校から講師を招き講演会を実施した。また、時間のある限り担任は個人面談を繰り返し行っている。

【鈴木委員】

大学側の早期に学生を確保したという意向と、本校で取り組んでいるSSH事業や学力向上進学重点校を目指すといった志向との間に何か課題はあるか。

【島川総括教諭】

本校の生徒については先に述べた時流に乗るような生徒もいるが、しっかりした意志を持っている生徒も多い。しかし、進路決定にあたっては各家庭の意向も強く働く。

【穴戸会長】

学力向上進学重点校を目指すという視点についてはどのような取組みがなされているか。

【島川総括教諭】

難関大学対策講座の実施、また、各授業において教科担当が入試問題を取り扱うことで対応している。

【山崎委員】

進路決定については中学校でも同じような状況があり、より高いところに挑戦するというよりは、早期に進路を決定したいという意向が強い。そんな中で学校としてなにが大切かということ現場も考え続けているが、一つは学び続ける意欲の醸成をいかにするかということではないかと考えている。

【穴戸会長】

視点4(地域等との協働)について説明願いたい。

【三笠総括教諭】

11月12日に平塚市災害対策課の協力を得て、周辺住民の参加を募り、生徒とともに防災教室を実施した。内容は平塚市災害対策課から能登半島地震の災害復旧支援に入った職員を招き講演をしていただき、能登半島地震の実態について、平塚地域で想定される災害について、学校が避難所となった場合の実態などについてお話いただいた。

地域からは約20名の参加があったが、講演を聴講するだけでなく、住民の方々と生徒との意見交換等を実施できなかったことが課題であると考えている。

生徒には振り返りを実施したが、大地震の実態や学校避難所においてどのように行動すべきかなどについて考えた記述が見られ、一定の効果はあったと考えている。

【香取委員】

市内各小中学校、自治会などで防災啓発を行っているので、今回の企画は市としてもありがたかった。

本校は避難所にも指定されており、指摘の通り、地域住民との協働ができればよかった。

【金田委員】

8月に南海トラフ地震に関して臨時情報が発出されたが、学校としての対応はいかがだったのか。

【井野校長】

今回の臨時情報では通常の学校運営を行うよう県から指示があり、その通りとした。また、近隣の被害を想定し、発災した場合の確認は行ったが、生徒に対しての直接の指示は行っていない。

別件になるが、8月下旬にあった大雨に対しての対応に課題があり、荒天時の登校に関して検討をしているところである。

【穴戸会長】

視点5(学校管理 学校運営)について、説明願いたい。

【本城教頭】

・不祥事防止会議・研修をこれまで6回実施。

・広報活動については、資料にある内容をHP掲載、Xへの投稿を行った。

【齋藤委員】

Xへの投稿を増やしていることは効果的である。継続をするとよい。保護者としてもありがたい。

【穴戸会長】

不祥事防止会議・研修の具体的なやり方を伺いたい。

【本城教頭】

不祥事防止会議において各グループリーダーがテーマを持ち帰り、各グループ会議で研修をおこない、その内容を次回不祥事防止会議に持ち帰って報告するという形式である。

【穴戸会長】

少人数で研修を行う形式は非常に良いと考える。継続するとよい。では、全体を通して委員からご意見をいただきたい。

【武田委員】

進路指導に関して、受験の形態が様々変化していることを改めて認識した。ご苦労だと思うが、保護者とよく協力して進めていただきたいと思う。

4 報 告

【穴戸会長】

次第4 報告に入る。

(1)学校予算の執行状況について、報告願いたい。

【今福事務長】

本年度予算の特徴である、施設長寿命化対策工事費用、老朽備品更新のための費用について、ご説明申し上げる。

長寿命化対策工事費用

・本館給水管の撤去。中館の屋上防水、北館の雨水排水管の修理、西館の廊下階段壁面塗装と避難階段の塗装を行った。体育館については床面のメンテナンス及び吐き出し窓のサッシ化、南館屋根塗装と雨どいの修理を行った。

老朽備品更新の費用

・体育館放送設備の更新、緞帳昇降装置の修理、体育館シューズロッカー更新、図書館書架更新、印刷機の更新を行った。

【穴戸会長】

(2)オフィス改善について、報告願いたい。

【本城教頭】

オフィス改善事業の主旨

働き方改革や、コロナ禍を契機に教育活動の変革が進展しているが、職員室内の什器やレイアウトは旧態依然としており、紙の資料を使用することが前提となっている環境・仕様がかなり残っている。オフィス改善の趣旨は、執務室内の環境を積極的に改善することで働きやすい環境を整備し、働き方改革につなげていくということである。また、これによって教員の意欲向上、コミュニケーションの活性化、教員採用へのアピールなどを想定している県の事業である。

本校は来年度実施予定であるが、事前に職員にアンケートを実施し、その内容を反映したものにしたいと考えている。(計画の具体は資料を参照)

【穴戸会長】

オフィス改善について、快適な環境でないと教員のなり手がいないという問題もあり、よいアイデアはよい環境からということもあると思う。またカウンセリング室の環境などにも取り組んでもらえればと思う。

最後に、全体を通して委員の皆様から一言お願いしたい。

【金田委員】

学校目標に向かって、精力的に取り組まれていると思う。その中で、教員の負担も大きい部分があると思うので、教員の働く環境というものも改善していただきたい。

【香取委員】

今後も防災教育について市として協力したい。

【齋藤委員】

地域と連携・協働できる部分をお互いに考えていきたいと思う。避難所として校内を見たときに、体育館周囲の段差は気になっているところである。

【武田委員】

小学校に向けた広報について次回は伺いたい。

【鈴木委員】

近隣の小中学校のPTA関係者には江南高校出身者がかなりいると聞いているので、活用を検討してみるのはいかがか。

また、自分が携わっているNPO法人で、平塚市の将来について考える会を開催し本校からも参加をしてもらったが、こういった場でのプレゼンテーションをする力(経験)も重要だと思うので、今後もそのような場を提供する形で応援していきたいと思っている。

【山崎委員】

たくさんの取り組みを綿密になされていることがよく理解できた。これをいかに発信するかが重要だと思う。発信の仕方は様々あるが、在校生が発信する機会や場があると、アピールとして強いものがあると思う。

4 事務局から

(1)今後の日程について

- ・1月17日(金)合唱コンクール(於 ひらしん平塚文化芸術ホール)
- ・3月15日(土)第3回学校運営協議会 各分科会

(2)校長より

長時間に渡り、令和6年度学校評価報告書について協議いただき感謝する。SSH II期申請、また77回生の大学入試など、皆様に良いご報告ができるよう、学校運営の改善と充実に努めていきたい。

学校や生徒を取り巻く状況の変化が激しいことを踏まえ、柔軟に対応し、積極的に発信する姿勢を持ちたいと思う。今後ともサポートをお願いしたい。

閉会